

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成 31 年 4 月解析分)

1 今月のトピックス

(1) マダニ等による感染症に注意しましょう！！

マダニやツツガムシの活動が活発になる春から秋にかけて、マダニ等が媒介する感染症が多く発生しています。農作業やレジャーなどで、草むらや藪に入るときには、長袖、長ズボンの着用、忌避剤の使用等によりマダニ等に咬まれないよう注意しましょう。



フタトゲチマダニ

疾病名	潜伏期間	症 状		発生状況	
		初期症状	特 徴	29年	30年
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	6～14 日		消化器症状：食欲不振、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血 その他の症状：頭痛、筋肉痛、神経症状（意識障害、けいれん、こん睡）、リンパ節腫脹、呼吸器症状（咳など）、出血症状（紫斑）	5	10
日本紅斑熱	2～8 日	倦怠感 悪寒 急な発熱 (38～40℃)	発疹：発熱の後にやや遅れて、四肢や体幹部に米粒大や小豆大の紅斑（痛み・かゆみはないが手のひらにも出現） 刺し口：腹部や背部、外陰部、大腿部など隠れた部分にあることが多い（「かさぶた」を形成するが、ツツガムシの刺し口ほど大きくない）	69	41
つつが虫病	5～14 日		発疹：発熱後、顔面や体幹部に米粒大の紅斑（痛み・かゆみはない） 刺し口：臀部、外陰部、大腿部や腹部など、皮膚の柔らかい隠れた部分にあることが多い（特徴的な「かさぶた」を形成）	38	27

詳しい情報は、広島県のホームページをご覧ください。



広島県 マダニ

検索

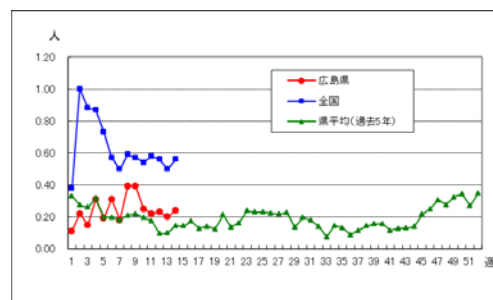
(2) これからの時期に注意すべき感染症 ～伝染性紅斑（リンゴ病）～

伝染性紅斑は、両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」と呼ばれる、幼児を中心に流行する感染症です。

4～5年周期で流行し、春から夏にかけて患者数が増加する傾向があります。前回は、平成27～28年に流行しました。

昨年夏ごろより東日本を中心に流行が見られており、今後、広島県でも注意が必要です。

一医療機関当たりの報告患者数 (H31 広島県)



病原体	ヒトパルボウイルスB19
症 状	感染後10～20日の潜伏期の後、両頬に赤い発疹、続いて腕、脚部にも網目状の紅斑が見られ1週間程度で消失します。発疹が出現する前に微熱や風邪のような症状が見られることがあり、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。 成人では、両頬の紅斑は少ないですが、小児に比べ、関節痛・関節炎の頻度が高率です。 また、妊婦さんが妊娠早期に初めて感染すると、胎児に感染し、流産や死産の原因となることがあります。
感染経路	飛沫感染、接触感染
予防方法	手洗いとうがいの励行が基本となります。 特に妊娠されている方は、流行時期には人混みを避けましょう。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成31年3月分(平成31年3月4日～平成31年3月31日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	1,550	3.38	8.21	↓	10	ヘルパンギーナ	2	0.01	0.03	
2	RSウイルス感染症	122	0.43	0.25	↘	11	流行性耳下腺炎	67	0.23	0.42	↗
3	咽頭結膜熱	113	0.40	0.51	→	12	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	634	2.22	2.19	→	13	流行性角結膜炎	50	0.66	0.55	↗
5	感染性胃腸炎	1,830	6.40	7.53	↘	14	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
6	水痘	45	0.16	0.34	↘	15	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.02	
7	手足口病	35	0.12	0.12	→	16	マイコプラズマ肺炎	5	0.06	0.10	
8	伝染性紅斑	64	0.22	0.14	↘	17	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	103	0.36	0.36	↗	18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	15	0.18	0.72	↗

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成31年3月分(3月1日～3月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	57	2.48	2.10	↗	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	54	2.57	3.83	↘
20	性器ヘルペスウイルス感染症	19	0.83	0.76	↘	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0.05	0.44	
21	尖圭コンジローマ	14	0.61	0.56	→	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0.10	0.08	
22	淋菌感染症	14	0.61	0.79	↗						

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

発生記号(前月と比較)

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)					
○急増疾患	なし				
○急減疾患	インフルエンザ	(14.10 → 3.38)			
急増減	↑	↓			1:2以上の増減
増減	↗	↘			1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘			1:1.1～1.5の増減
横ばい	→				ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患, 月報対象7疾患)について, 県内178の定点医療機関からの報告を集計し, 作成しています。

対象疾病No.	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
1	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況 【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	33	結核(33)〔西部保健所(3), 東部保健所(5), 北部保健所(1), 広島市保健所(15), 呉市保健所(4), 福山市保健所(5)〕
三類	4	細菌性赤痢(1)〔西部東保健所(1)〕, 腸管出血性大腸菌感染症(3)〔西部東保健所(1), 福山市保健所(2)〕
四類	9	A型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕, E型肝炎(3)〔北部保健所(2), 広島市保健所(1)〕, デング熱(1)〔広島市保健所(1)〕, レジオネラ症(4)〔広島市保健所(3), 呉市保健所(1)〕
五類	64	アメーバ赤痢(3)〔西部保健所(1), 広島市保健所(1), 福山市保健所(1)〕, ウイルス性肝炎(E型, A型除く)(1)〔広島市保健所(1)〕, カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(6)〔西部保健所(1), 西部東保健所(1), 東部保健所(1), 北部保健所(1), 呉市保健所(2)〕, 急性脳炎(5)〔広島市保健所(3), 呉市保健所(2)〕, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)〔西部保健所(1), 福山市保健所(1)〕, 後天性免疫不全症候群(2)〔東部保健所(1), 広島市保健所(1)〕, 侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕, 侵襲性肺炎球菌感染症(6)〔西部保健所(1), 広島市保健所(4), 福山市保健所(1)〕, 播種性クリプトコックス症(1)〔広島市保健所(1)〕, 梅毒(10)〔北部保健所(1), 広島市保健所(8), 福山市保健所(1)〕, 百日咳(16)〔東部保健所(2), 広島市保健所(5), 福山市保健所(9)〕, 風しん(10)〔西部東保健所(5), 広島市保健所(5)〕, 麻しん(1)〔東部保健所(1)〕